



刊 夕 日 五 十

發行所 東京市本町二丁目
電話 三三三三
代印所 東京市本町二丁目
電話 三三三三

獨逸波蘭自治を宣言す

アムステルダム電 波蘭人は波蘭人の自治を宣言す
波蘭人は波蘭人の自治を宣言す

獨逸の第二陣地を占領す

ソム河南北の連絡を断つ
獨逸軍はソム河南北の連絡を断つ

所得税法規則

財政部は所得税法規則を制定す
財政部は所得税法規則を制定す

歐洲兵器視察團

野田大佐が歐洲兵器視察團を率へる
野田大佐が歐洲兵器視察團を率へる

鮮銀の上半季成績

總會に於ける勝山總裁の報告
總會に於ける勝山總裁の報告

一般經濟狀況

朝鮮の經濟狀況は如何なるものか
朝鮮の經濟狀況は如何なるものか

業務の概況

金貨及び貸出金の概況
金貨及び貸出金の概況

國庫事務

國庫事務の概況
國庫事務の概況

江原水害公報

江原道の水害の被害状況を報告す
江原道の水害の被害状況を報告す

石塚長官一行

石塚長官一行の動向
石塚長官一行の動向

板内中将動向

板内中将の動向
板内中将の動向

縣東安

縣東安の動向
縣東安の動向

津浦

津浦の動向
津浦の動向

平壤

平壤の動向
平壤の動向

邱大

邱大の動向
邱大の動向

汽車時間表 (七月一日)

| 行先 | 出発 | 到着 |
|----|-------|-------|
| 東京 | 10:00 | 12:00 |
| 大阪 | 14:00 | 16:00 |
| 京都 | 18:00 | 20:00 |
| 神戸 | 22:00 | 24:00 |

石塚長官一行の動向
板内中将の動向
縣東安の動向
津浦の動向
平壤の動向
邱大の動向

貯蓄預金

元金百圓ニ付日步壹錢三厘金
壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

模式十八銀行京城支店

京坂黃金町電話四〇番五八〇番
振替貯金口座京城八一四番

龍山出張所

龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利
ニ取扱可申候

キリン印ラムネ
東原泉町
梶原商會支店

發賣中

第三百四十回

こ
で
之
れ
か
ら
茲
者
を
揚
げ
て
大
變
と

き、宜い如減に御酒の廻つた所
上げて歸りましたが、其晩雪并
へ相變らず造つて來たのは一橋
齋で門人の野村玄意といふのが
だ此玄意といふ奴は薩陀峠の絶
お雪を追懸けた奴だが其お雪が
となつて居るとは氣が附かない

櫻井町
電話八七三
大正

を代（品）を代へ、金銀は清水の如く
透ひますが、何日も情なく置ら
しめておき、尤も如髪無きなどいふ男が
を口説くのかからして心得違ひ、色色
真黒で一面に痘痕がある丁度金細
紙を貼つて、眼を塗つた奴を泥に
踏込んで用ひ叩かして、殺したへ
に猫が引張いたやうな面にな
る面があるものやアアアアアア
京城本町三丁目（南富町）
伊藤眼科醫院
院長 伊藤 三郎
醫學士 伊藤 三郎
電話 三十七番

十七日よりは……

太夫は二三ある、骨太で燗燗で
客で是の大きなは組板ぐらゐる
醜男といふのもあるけれども之
念の入つた方の醜形で、流石道化
も此客ばかりは對手にならなとい
是介な人物でございます、笑して
非なことが此かぬのは尤も、けれ
根氣よく通つて参ります、今暫
根の立つた跡へ這つて來たが其
武藏に逢つて居るから氣が強い、
醜く振付けて了ひました、如見
ゴ／＼引取つたが其後其井には空
武藏といふ後桶があるから容易
には離かぬといふ附か立ませし

三味線(片澤新枝)夫人(櫻狂助)何れも
の隠し巻にて御機嫌御伺ひ申飲△世界
八割食ふ舌前(石金)第九黒

つた處へ稻妻の平九郎が來て、年
吉原で乾兒が宮本のために替ひ目
遇つたといふ話をしたから如見死
が怒り心頭にて燃上り如、憎く如
宮本武藏、什麼かして此復讐をし
ければならん」と門人共を集めて、
誠をしたが、再びたび稻妻組が宮本
附畝をしたが一條。

煙草

徵科

本院醫士 藤田 明治 醫師 勝 膀胱病 生 殖器 機能障礙

日曜祭日午後二時迄

八月十七日 九月星
 舊七月十九日 丙戌
 本命 八口及滿生應

▲八口 舊七月十九日 丙戌
 ▲九口 舊七月十九日 丙戌

本院醫士 藤田 明治 醫師 勝 膀胱病 生 殖器 機能障礙

人

し「黒、我々となしの事や」新平「手捻笑
言又ぬがかるべし」三郎「折角のつか
有日」新平「其妻は吉な女子には行儀でらるる
▲▲▲」
▲▲▲「不想手な事や日」新平「手捻事は吉な
術を注意」五黄「随に迷惑の事有日
手捻事は吉」保助印等々然す▲白「利
ひ日」新平「名所出陣流儀水木利
皆吉」七赤「買収さ」日興「此山陰名弘
探偵館購入等皆吉物に勝の日

11

▲美味なる▽
虫下し
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠

▲美味なる▽
最良藥
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠

▲美味なる▽
虫下し
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠

▲美味なる▽
虫下し
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠

▲美味なる▽
最良藥
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠

▲美味なる▽
虫下し
 元價五錢●十錠●廿錠●五十錠



花王石鹼

石鹼を酸し加つて、石灰管に入れたる、このアルコールを注ぎ、細り流せて、之に充れば、良品の石鹼と證明となる。若し混合物があれば、沈澱し、赤褐色があらはれる。此の液に、又沈澱アルカリを、加へば、此の液にフェニールフルタレイン一滴を落せば、白色を呈する。

斯の如く純良無上の品質なるが故に、絶えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の採用品となり、化粧衛生品の第一品として滿天下に

賞讃を博するのです

せん せん げん
千 萬 言 の
説明を聴くよりは、此の
一管の實驗を御覧なさい

品質本位

元入體本日水貨烟 元造製館石王花
 店理代舖地石王花 店理代東福水在
 町土資經大 町喰馬京唐
 會商組關大 會商組關景

現代家庭の寵兒!!!

モモタロー
著 音器

(大金拾五圓也)
(小金拾圓也)

▲寸法
（小）底、九吋正方形、上部、八吋、正方形蓋、同時出售
（大）底、十一吋半同上蓋、十吋半、同高、六吋

▲圖藏
（小）モモタロー仕上げ飾り
（大）金具は大小蓋共全

兩面壁にて四分時の消

定價全貳拾陸元

ツボノボニ

一 利品等にて物價は正しく納金運賃高

日本一の
薄化粧料

白色美顔水

▲秘密を一つ

お悩みのせいで、皆様はよく、少しも感ぜられず、所がなく極く自然的にすきりさく美しく保持の快いお化粧師の人を御覧になるでせう。そして餘程お化粧上手の方が何か

▲一種特別の

秘製な道で行かないでは彼等は行かぬと思ひになるでせう。所が案外にも彼等の化粧が實に勞なく出来る時節に成りました。彼は有名な桃谷研究試験部で、國間の丹波の下に接する三藥學士が完成した白色美顔水でお化粧したのであります。

▲山本両博士

さあ眞試して御覽下さい。實に勞なく實に見事に全で生れつき色が白い人其儘の白さに附ます。一體

▲從來の婦人

のお化粧は白ベシキの様に白いかわりと濃黒いか斑かで、是て應じらしいか又は充分に綺麗になつないで、婦人の苦痛の様に行つてゐたのですが、白色美顔水で此

▲心配が満足

に解決されましたので、婦人が喜び此上なく、氣分大變な人氣を引出したのです。此品は一す見た處は水白粉の形ですが、併しお肌になれば直ちお分の通り、決して

▲普通の水へ

白粉を溶込んだ様なものでなく、専門業者が新に改良した美容成分で、從來使はれた事の無い、美容上の効力の強く強い原料へ、或特殊の白粉を溶込んで製したもので

▲白粉の生命

こゝろふき被覆力が強く、光澤の極みよく、色の清淨純白な、質の極微細原料と精美容成分の不思議な作用で、生れつき色が白い様につく化粧のみならず更に生地地の

▲皮膚の營養

まなり養顏の美を賜ふ特長があります。自然的な本性に美しい化粧の途は此品で始めて開かれたました。主眼の三藥學士も、是は既に成就だ、と言つて自信を示してゐます。

桃谷研究試験部

| | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ▲醫學博士 | ▲藥學博士 | ▲藥學博士 | ▲千葉藥學士 |
| 山丹 | 山丹 | 山丹 | 山丹 |
| 波淳 | 波淳 | 波淳 | 波淳 |
| 敬二 | 敬二 | 敬二 | 敬二 |
| 氏氏 | 氏氏 | 氏氏 | 氏氏 |

▲名譽ある白色美顔水を創製したる

[illegible]